

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公表番号】特表2018-528282(P2018-528282A)

【公表日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2018-501224(P2018-501224)

【国際特許分類】

C 08 G 65/48 (2006.01)

C 08 G 59/16 (2006.01)

C 08 F 22/40 (2006.01)

【F I】

C 08 G 65/48

C 08 G 59/16

C 08 F 22/40

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月28日(2019.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

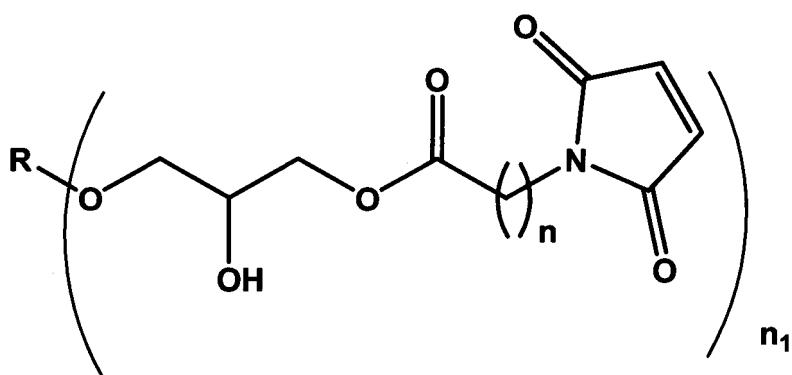
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の構造を含む樹脂。

【化1】



(式中、

Rは、直鎖または分枝アルキル、直鎖または分枝シクロアルキル、アルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキル、シクロアルキル、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒド

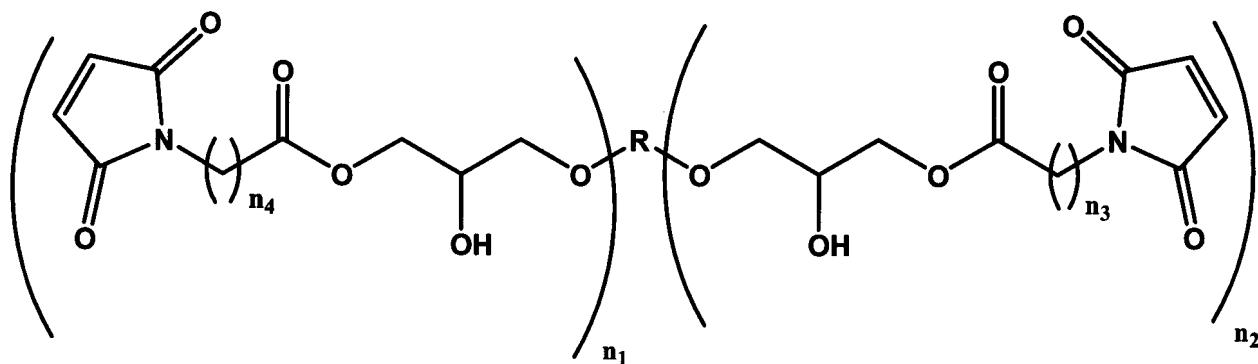
ロキシル基を含むことができ、

nは、それぞれ独立して1～10であり、n₁は、1または2である。)

【請求項2】

以下の構造を含む樹脂。

【化2】



(式中、

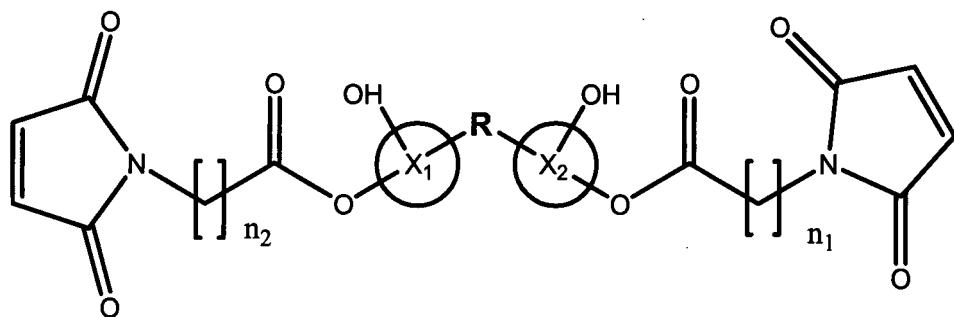
Rは、アルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

n₁、n₂、n₃およびn₄は、それぞれ独立して1～10であり、ただし、n₁およびn₂の合計が2である。)

【請求項3】

以下の構造を含む樹脂。

【化3】



(式中、

X₁およびX₂は、独立して、任意に1個以上のヘテロ原子を有する官能化または非官能化脂環式基から選択される3～10員環であり、

n₁およびn₂は、それぞれ独立して1～10であり、

Rは、アルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン

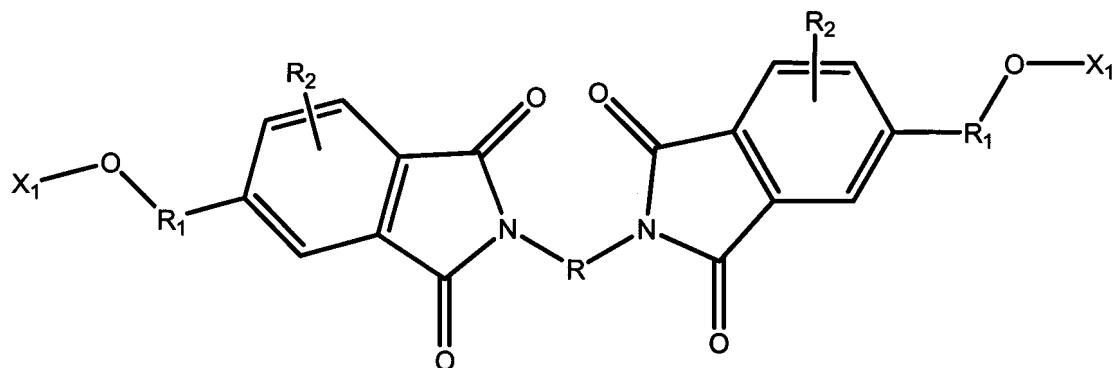
、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

Rは、任意の位置で環構造X₁およびX₂に連結し、ただしX₁およびX₂環上のヒドロキシル基が、マレイミドアルカノイル基に隣接する。)

【請求項4】

以下の構造を含む樹脂。

【化4】



(式中、

Rは、アルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

R₁は、カルボニル基、1種以上のエステル、エーテル、ヒドロキシルまたはチオエーテル基を含んでもよい脂肪族または芳香族であることができる連結基であり、

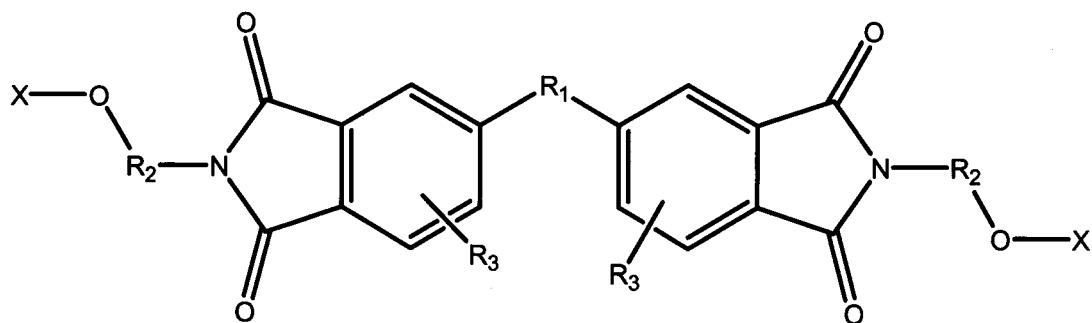
R₂は、H、ハロゲン、アルキル、アルキルエーテルまたはチオエーテル基であってもよい芳香環上の置換基であり、

X₁は、マレイミドアルカノイルまたはマレイミドアロイル基から選択される。)

【請求項5】

以下の構造を含む樹脂。

【化5】



(式中、

R₁は、単に2つの芳香族基を連結する結合であり、O、カルボニルまたはアルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択される連結基であり、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

R₂は、1種以上のエステル、エーテル、ヒドロキシル、チオエーテル、カルボネート基を含んでもよい脂肪族または芳香族連結基であり、

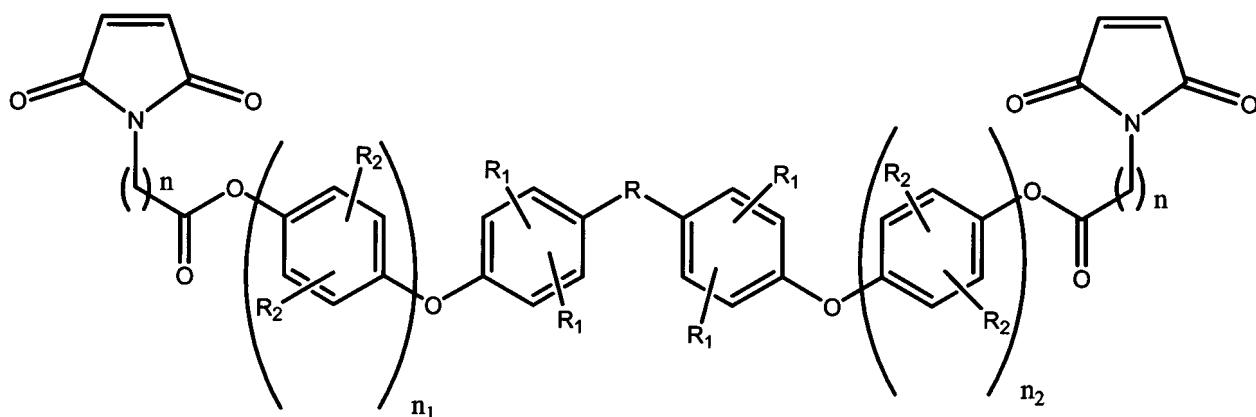
R₃は、H、ハロゲン、アルキル、アルキルエーテルまたはチオエーテル基であってもよいアリール基上の置換基であり、

Xは、マレイミドアルカノイルおよびマレイミドアロイル基から選択される。)

【請求項6】

以下の構造を含む樹脂。

【化6】



(式中、

Rは、アルキレン、シクロアルキレン、ビシクロアルキレン、トリシクロアルキレン、直鎖または分枝アルキレン、直鎖または分枝シクロアルキレン、直鎖または分枝アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン

、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンまたはヘテロシクロアリーレンから選択され、アルキレン、シクロアルキレン、アルケニレン、アリーレン、アラルキレン、アリールビシクロアルキレン、アリールトリシクロアルキレン、ビシクロアルキルアリーレン、トリシクロアルキルアリーレン、ビスフェニレン、シクロアルキルアリーレン、ヘテロシクロアルキレンおよびヘテロシクロアリーレンは、任意にOまたはSまたはヒドロキシル基を含むことができ、

R₁およびR₂は、それぞれ、任意にヘテロ原子を含有する直鎖または分枝脂肪族基であり、

nは、1～10であり、および

n₁およびn₂は、それぞれ1～100である。)